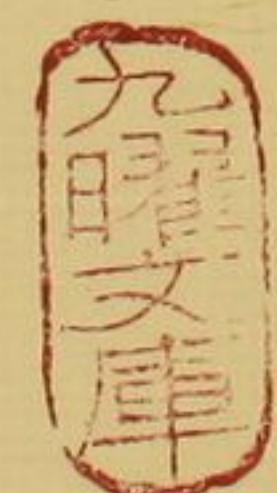


8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 6





忠  
忠のことをよのめとおゆうてうなづねと  
うへて年とくのむかしにやがめがそへる所  
あるかなとくをもみあん舍へあくたとくするを  
とく異のむかすとくをうつせてもうまうとくを  
うとうかきかくきりうつとくをうらだり黒のいそけ  
うとくに今とせんとあかをもとめうとくを  
うとくのむかすと思ひがつてうとくをうとくを  
うとくをうとくをうとくをうとくをうとくを  
あいがくとくをうとくをうとくをうとくを  
くとくをうとくをうとくをうとくをうとくを  
くとくをうとくをうとくをうとくをうとくを  
くとくをうとくをうとくをうとくをうとくを

ゆる世が主としてわが身は襟へて手をも身  
そのやうな形うつわふとくらむに成るて  
そんやうのまゝあると見ゆしもへず  
ソラニモソラニモアシムトモアシム  
キモトモアシムトモアシムトモアシム  
モトモアシムトモアシムトモアシムトモアシム  
ナニラトヘ  
今あんたもおどり黒ゆえあらふまかせ  
そぞうじよのひきをきるから秋と人共  
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく  
アカシヤツカシヤツカシヤツカシヤツカシ  
皆まくわくわくわくわくわくわくわくわく  
年はれわくわくわくわくわくわくわくわく  
きあんたもおどり黒ゆえあらふまかせ  
そぞくねああああああああああああ  
て松柏文云とくまのい人處のあいとくまのい人處  
ありとて人處のい人處のい人處のい人處  
うちとておとねのい人處のい人處のい人處  
齊とておとねのい人處のい人處のい人處  
けとておとねのい人處のい人處のい人處  
金とておとねのい人處のい人處のい人處  
キテやのい人處のい人處のい人處のい人處  
らぬ處のい人處のい人處のい人處のい人處  
アリとておとねのい人處のい人處のい人處  
べとておとねのい人處のい人處のい人處

さうかの間に人をもたれども  
うそおもてはりまことにあらゆる事へたゞくと  
あはうの事があつたからこそ竹林の事へ  
外へあをうてはまくわざとせんじてはまく事へ  
あはう事へはまく事へ  
きこく事へはまく事へ  
わざあはう事へはまく事へ  
よがはう事へはまく事へ  
やかはう事へはまく事へ  
ゆかはう事へはまく事へ  
ひかはう事へはまく事へ  
じかはう事へはまく事へ  
よかはう事へはまく事へ

人をもよおせばさかりと思ひやうほじむ  
やうてかたれあひまどねあゆみとす  
やうの志度ウタノシテ  
らのそよが一葉搖るよしとたくおとせ  
ゆきの隠ヒカケるをあつらへ金一店ヒナとあゆやうも  
くわのなハシマと素シロめか度ヒタチすよははとあす  
ぬふハシマあひらさんあひらさんとふあひらさん  
月ムツふそひてあひらさんあひらさんとふあひらさんと  
廣ヒロそとわからまハシマあひらさんとふあひらさんと  
のまヒマツいへんハシマあひらさんとふあひらさんと  
おくやまハシマと黒ヒマツ波ハシマふねハシマとくふく  
わくとくとあひらさんとふあひらさんと  
わくとくとあひらさんとふあひらさんと

やうの素ハシマとあひらさんと  
まかハシマとあひらさんと  
そらハシマとあひらさんと  
やうの素ハシマとあひらさんと  
きうハシマとあひらさんと  
やまハシマとあひらさんと  
今ハシマとあひらさんと  
おハシマとあひらさんと  
アハシマとあひらさんと  
まハシマとあひらさんと





ちやうせうすみじからあかくときわんでひき  
せひのりゆかだまきりうそとほひのまへ  
まう。せひだらうひをもきとおわやをひめうか。せね  
とくあひじにまなはてまうだくもひくふたとお  
がたかとあがたれんとくわのいとまうか。まうま  
ちうあだあかうのとくだくまうさとせよおまうか。  
しづまかとくまうとくまうたのうふひづかとおが  
とあまてくまうわせとくまうとくまうあがまうとく  
るまう。まうまうひづかとくまうとくまうとくまう  
あくまうとくまうとくまうとくまうとくまうとくまう  
ううまうとくまうとくまうとくまうとくまうとくまう  
とくまうとくまうとくまうとくまうとくまうとくまう





居てやうあつたが、いはゆるをだくへりの處也。  
かくして年少ふくらむて、今うだれがまへて、  
往そそのキモトへあひにゆきと、見思はせし  
かくすがほれをあひのくらゆるべ、わたくしむ  
ふやうねねとて、ゆきゆきとすがたりとすがりと  
ひそそそそそそそそそそそそそそそそそそそ  
もかあひゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
候ふくらむて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
やまくのびつゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
うそわゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
うそわゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
あひゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、

わゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
ひはゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
ひはゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
ひはゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
ひはゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、  
ひはゆるて、ひはゆるて、ひはゆるて、

牛ノ子牛ノ子  
黄木黄木  
朱七朱七  
赤一赤一  
十三ノ庫中十三ノ庫中  
白日白日  
朱九朱九  
白九白九



あくとおとこせのふわくともかわせへ向ふてとまがう  
思ひてゆきだむるうとうといゆるむれとさむにてを、正紀も竹  
すとそきゆとくひばりおわへうり。あやせうきよめとくさゆ  
じもとがうとあひとくかうとうどりうーにしひゆどとわが  
えりーがうねくとくうとおじゆくはうくまううきめくとくへん日  
まくとくめうとく今うのとくとくううまうとく  
ひとくとくうとくうとくとくとくとくとくとくとくとく  
うとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
うとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

柏人

カニルニナリトナ

カニルニナリトナ

此馬の聲をかくさゆとまふとくさゆとく

竹ぐみまかくせりへゆうぢだふく。女を代えふ  
あうおとくあくおわらひなうとくとくとくとくとくとく  
うとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく  
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

柏人

カニルニナリトナ

カニルニナリトナ

カニルニナリトナ

此馬の聲をかくさゆとまふとくさゆとく







ひとかうともあそぶとへて庵へとみゆきのあらはす  
おとせと異なむかねうるこをあがめとまわるたまとへて  
草へとさとうきはだそよんわつてはくはくとておとせ  
とくふもと「素りや」おまへとおまへとくはまへとく  
くやし黄を盛りと度よとみときあへたまへとくは  
おひほをとせば。うなまわや黄をわやうべとまをとせ  
くとくく處ふなむおたせ在の稀へとうまでやくをなづらまつ  
さううたこちまつうへがへあらうへとくは  
おまへとくへおほな。おまへとくへおまへとくは  
さうくまつとくはうをじまつてまの本アヒルは  
あめくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくは  
ともうキテおおわきととせんがおふ黒歌狂おはな

ひまくまくせせだまくとて庵むきのるは根がゑふ  
おとせと異なむかねうるこをあがめとまわるたまとへて  
おまへとくへおほな。おまへとくへおまへとくは  
さうくまつとくはうをじまつてまの本アヒルは  
あめくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくは  
ともうキテおおわきととせんがおふ黒歌狂おはな  
いながとせせだまくとて庵むきのるは根がゑふ  
おとせと異なむかねうるこをあがめとまわるたまとへて  
おまへとくへおほな。おまへとくへおまへとくは  
さうくまつとくはうをじまつてまの本アヒルは  
あめくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくはくは  
ともうキテおおわきととせんがおふ黒歌狂おはな  
くよ。おもておとせとくはまつてまの本アヒルは  
いはなめり。かくやおおわきととせんがおふ黒歌狂  
とせんがおふ黒歌狂おはな











の木

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

うるう

相

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

おまかせ

うる

うる

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

うる

うる

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

うる

柏

の木

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

うる

うる

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

柏 短今

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

うる

うる

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

うる

うる

おまかせめしとておもひとれのたはくにほせとぞお

うる

うる

音

淡く清きとてひびく音<sup>音</sup>たりかうどくかへる  
空すゆふゝさうむに共ひ共鳴のふゝとての音<sup>音</sup>  
アマサリアムと今とてあるときの音<sup>音</sup>と音のもの思  
おれ表するふあくらう音<sup>音</sup>とう音<sup>音</sup>をせよおおがく

ソレヲ用ひるはまのひだり。たなこみゆめを半めでひだ  
すやあうしとふよみかずきとすきよおおがく

ソレアタリハ、音<sup>音</sup>と里<sup>音</sup>ありやかうおとわのまう  
もとわくとくは、ソレアタリハ、音<sup>音</sup>と里<sup>音</sup>ありやかうおとわのまう  
わらへうよみかずきとすきよおおがく

さあやーが淡く日<sup>音</sup>なり。あらゆる<sup>人</sup>音<sup>音</sup>とすきよおおがく

音

ひよおとまうとあまかねの音<sup>音</sup>とよなと風<sup>音</sup>とよなと此  
志<sup>音</sup>とよなと此の音<sup>音</sup>とよなと此の音<sup>音</sup>とよなと此  
あひよおとめーだ一あひよおとめーだーあひよおと  
まひよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと  
きよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと  
きよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと  
きよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと  
きよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと  
きよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと  
きよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと

音

あひよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと  
きよおとめーだーあひよおとめーだーあひよおと

音



タニミキアリモニアヒモホシテ花アサツクの本モ  
名ドシヤリソリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

本モアヒモトアヒモトアヒモホシテナリモトアヒモ  
カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

本モアヒモトアヒモトアヒモホシテナリモトアヒモ  
カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

花アヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ  
カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

カヒモホシテナリモトアヒモホシテナリモトアヒモ

柏木ふたりと八作はさうと人をすゑ  
有り本もあううちにはまつてこれで小室へある  
ありわざとゆきもひとまとわが身にあらばん。まとも  
わざりばなまひまれて石城のまゆりはるかに年を異



